

学校教育目標「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」



おぢか中だより



学校
H
P

目指す学校像「共に学び合う学校」「共に支え合う学校」「共に高め合う学校」
目指す生徒像「求めて学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たかましい生徒」

小値賀町立小値賀中学校
文責：校長 上野公洋

令和6年度 佐世保市中学校体育大会

6月8日(土)・9日(日)に行われた佐世保市中学校体育大会(市中体)には、本校から**陸上部**と**バドミントン部**が出場しました。3年生にとっては、中学校最後の部活動の集大成となる大会でした。出場した全ての選手にとって、新たな次の目標や課題につながる**いい終わり方**となりました。保護者、地域の皆様、応援ありがとうございました。

【陸上競技】

☆女子総合6位入賞

種目	氏名	学年	記録	順位	備考
共通女子砲丸投げ		3年	7m46cm	4位	
1年男子1500m		1年	5分09秒	3位	県大会補欠
1年女子800m		1年	2分38秒48	1位	県大会出場
2年女子800m		2年	2分35秒86	2位	県大会出場
2年女子800m		2年	2分42秒09	5位	
3年女子800m		3年	2分37秒13	5位	
1年男子100m予選		1年	14秒37	-	予選敗退
1年女子100m予選		1年	15秒34	-	予選敗退
2年女子100m予選		2年	13秒73	-	決勝進出
3年女子100m予選		3年	17秒01	-	予選敗退
2年女子100m決勝		2年	13秒97	4位	
共通女子1500m		3年	5分28秒03	6位	
共通女子1500m		2年	5分37秒36	9位	

【バドミントン競技】<団体戦>

			結果	対戦相手	備考
男子	1回戦	小値賀中	1-2	日野中	(敗退)
女子	1回戦	小値賀中	2-1	福石中	(勝利)
	2回戦	小値賀中	0-3	広田中	(敗退)

【バドミントン競技】<個人戦>

女子	氏名	結果	対戦相手	備考
1回戦		0-2	福石中	(敗退)
1回戦		0-2	山澄中	(敗退)
1回戦		0-2	浅子小中	(敗退)
1回戦		0-2	広田中	(敗退)
1回戦		2-0	広田中	(勝利)
2回戦		2-1	福石中	(勝利)
3回戦		1-2	浅子中	ベスト16
1回戦		2-0	福石中	(勝利)
2回戦		0-2	鹿町中	(敗退)

男子	氏名	結果	対戦相手	備考
1回戦		0-2	大野中	(敗退)
1回戦		2-0	黒島中	(勝利)
2回戦		0-2	鹿町中	(敗退)
2回戦		2-0	日野中	(勝利)
3回戦		0-2	鹿町中	ベスト16
2回戦		2-0	柚木中	(勝利)
3回戦		0-2	早岐中	ベスト16

陸上部は、男女合わせて6名という少ない部員数ですが、全員が6位入賞を果たしました。さらに、**県大会出場3名、女子団体総合6位**という好成績を残すことができました。



バドミントン部は、個人戦の**ベスト16**をはじめ、3年生が下級生を引っ張りました。最後まであきらめずにシャトルに食らいつく先輩の姿に1・2年生は一年後の自分の目標とする姿をイメージすることができました。



□■□■□■□■□■□■□■□■□ 小中高合同海浜清掃 □■□■□■□■□■□■□■□■□

6月13日(木)、夏の強い日差しが照りつける中、学校周辺、赤浜、舟瀬、大島の4地区に分かれて、小中高生が合同で清掃活動を行いました。海岸の漂着ゴミを見ると、外国のものも見られます。改めて海を世界で共有し、大切にしていかなければならないことを実感します。「ゴミを拾う」だけでなく、「ゴミを捨てない」「ゴミを減らす」「ゴミを分別する」などの意識も高まりました。



□■□■□■□■ 小値賀っ子の心を見つめる教育週間 校長講話から ■□■□■□■□

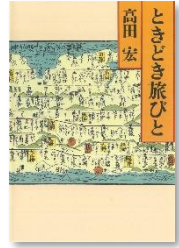
6月24日(月)からの一週間は、心を見つめる教育週間でした。毎年、この教育週間のはじめには、校長が講話を行っています。昨年は、私の趣味である山登りについて話しました。私が山登りを好きな理由は、「そこに挨拶があるから」です。その感覚と似たようなところが小値賀にもあります。

島に住んでいる方ならご存知の方も多いと思いますが、三十数年前、小値賀島のことに つづられたエッセーが **中学国語の教科書**に掲載されました。この著者の高田宏さんも、私と同じような心地よさを小値賀に感じたようです。

人口減少や学校の存続というのが小値賀の課題ですが、子どもたちもそれをくいとめる力になることができます。それは、**生きた挨拶**で島を訪れる方々に心地よさを与えることです。

島で見たことから

高田 宏



五島列島の小値賀島へ行ったときのことである。小学校の前のみごとな松並木の道があるいていたら、道の向う側を連れだってやってきた二、三年生くらいの男の子と女の子がこちらに向かって丁寧な挨拶をした。腰を折るお辞儀をして、「こんにちわ」と口をそろえて言う。大きな明るい声だった。

一瞬、返事をかえすのがおくれた。私に向っての挨拶であるとわからなかったのだ。だが、まわりに他の人はいなかった。私はあわてて「こんにちわ」をかえした。

小値賀島のあちらこちらで、そうだった。見知らぬ旅行者の私に、丁寧な挨拶であった。煙草を買いに立ち寄った小さな雑貨屋では、マイルドセブンを一個買っただけの私に、おばあさんが腰を折り両手を膝にそろえて、「ありがとうございます」と頭を下げた。このときも私は大あわてでお辞儀をかえしたのだったが、小値賀島にいるあいだじゅう、おばあさんの挨拶を思い出して気持ちがよくなったのである。あのおばあさんの温かい笑顔は今も目にのこっている。

見知らぬ同士が大勢の都会では、道で会う人みんなに挨拶をするわけにはいかないし、商店の人がいちいち丁寧な挨拶をしていたら商売にならないだろう。だが、小さな島や山間の村などに行くと、挨拶というものがきちんと生きている。形だけがのこっているというのではなく、挨拶というものを自然に生みだす生き方が伝えられているのである。

～以下、省略～

「ときどき旅びと」講談社(1987)から

※ かなづかい等は、原文に基づいて表記しています。

□■□■□■□■□■□■□■□■□ 7月の行事予定 □■□■□■□■□■□■□■□■□

1 (月)	3年数学つなぎ授業	17 (水)	救命救急講習
2 (火)	1年英語研究授業	18 (木)	
3 (水)		19 (金)	終業式、大掃除
4 (木)		20 (土)	
5 (金)	3年数学つなぎ授業	21 (日)	県中総体
6 (土)		22 (月)	↓ 二者面談
7 (日)		23 (火)	
8 (月)		24 (水)	北松西高校オープンスクール
9 (火)	1年小値賀史学	25 (木)	北松西高校議会発表
10 (水)	2年職場体験学習	26 (金)	↓
11 (木)		27 (土)	
12 (金)		28 (日)	
13 (土)		29 (月)	
14 (日)		30 (火)	
15 (月)	海の日	31 (水)	
16 (火)	専門委員会		

※ 現時点での予定ですので、変更もありえます。